



誘致企業(2014年7月～9月)

企業名	本社所在地	立地場所	業種等
ニコニコのり(株)	大阪府	みやま市(増設)	市販用のりの製造
アイシン精機(株)	愛知県	北九州市	自動車に係る画像認識、車両制御などの技術開発
(株)ハローデイ	北九州市	小竹町	自社店舗への配送業務

福岡県への企業進出進む

・市販用のりの製造を行うニコニコのり株式会社(本社:大阪府)が生産能力増強と今後の業務拡大に対応するため、みやま市に新たな工場を建設することが決定。設備投資予定額は約4.5億円。平成29年4月に操業開始予定、新規雇用は約30名を予定。

・自動車部品等の製造を行うアイシン精機株式会社(本社:愛知県)が北九州学術研究都市内の技術開発交流センター内に「電子システム開発部 九州開発センター」を設置することが決定。平成26年12月に操業開始予定。

・生鮮品中心の高品質型スーパーマーケット「ハローデイ」を北九州・福岡・筑豊地域で展開する株式会社ハローデイ(本社:北九州市)が、今後の新規店舗の出店に対応していくため、小竹団地内に物流センターの新設を決定。設備投資予定額は約17億円。平成28年内に操業開始予定。



(写真)右から、みやま市の西原市長、ニコニコのり(株)の白羽代表取締役社長、福岡県商工部企業立地課の梶原課長

有効求人倍率

		全国	福岡県	地域別			
				福岡地域	北九州地域	筑豊地域	筑後地域
2012年度		0.82	0.72	0.73	0.81	0.60	0.63
2013年度		0.97	0.83	0.88	0.83	0.67	0.77
2014年度	6月	1.10	0.92	0.92	0.86	0.66	0.79
	7月	1.10	0.97	1.01	0.92	0.74	0.84
	8月	1.10	0.97	1.04	0.97	0.74	0.88

(出典：福岡労働局「平成26年9月30日発行 雇用失業情勢(平成26年8月分)について」)

※全国及び福岡県の数値は季節調整値(地域別は原数値)

福岡県企業立地関連情報

「福岡県経営トップ懇談会」・「福岡県関西経営トップ懇談会」を開催し、東京・大阪地域の企業経営者の皆さんに、本県の魅力をPR!

小川知事は、東京・大阪において連日(9月8日、9日)開催された、「福岡県経営トップ懇談会」・「福岡県関西経営トップ懇談会」に出席し、講演を行いました。

そのなかで知事は、福岡県出身など本県にゆかりのある企業経営者の方々に、「グリーンアジア国際戦略総合特区」の推進や、今後さらなる成長が期待できる自動車産業や水素戦略の取組など、本県の施策をアピールするとともに、県産農林水産物や黒田官兵衛ゆかりの名所など、本県の魅力をPRしました。



(写真)福岡県経営トップ懇談会の様子



(写真)福岡県関西経営トップ懇談会の様子

次世代民間旅客機MRJ(三菱リージョナルジェット)公開式典が開催され、小川知事が出席しました!

10月18日、愛知県豊山町の三菱重工業株式会社名古屋航空宇宙製作所小牧南工場で、三菱重工業株式会社と三菱航空機株式会社が開発を進めてきたMRJ(三菱リージョナルジェット)のロールアウト式典(工場から機体を搬出して一般公開される式典)が開催され、国内招待客の一人として小川知事が出席しました。



(写真)式典の様子



(写真)左から、三菱重工業(株)の宮永代表取締役社長、小川知事

三菱重工業株式会社は今年2月に、MRJの飛行試験や駐機の拠点として北九州空港を活用することを決定しました。この度のMRJの機体完成を迎え、400機を超えた受注機数は今後さらに伸びていくことが期待されます。県では、引き続き、国、関係自治体などと緊密に連携を図りながら、MRJプロジェクトをはじめ、国内の航空機産業の振興に積極的に取り組んでまいります。

福岡県立地企業振興会の会員である昭和アルミニウム缶株式会社大牟田工場の一般財団法人日本緑化センター会長表彰受賞が決定しました!!

昭和アルミニウム缶株式会社大牟田工場(大牟田市)が工場内外の環境向上に顕著な功績のあった工場等に贈られる「緑化優良工場等表彰」において、平成26年度一般財団法人日本緑化センター会長表彰を受賞することが決定しました。

なお、11月4日(火)に石垣記念ホール(東京都)で開催される「第33回工場緑化推進全国大会」にて表彰式が行われます。

【今回の受賞ポイント】

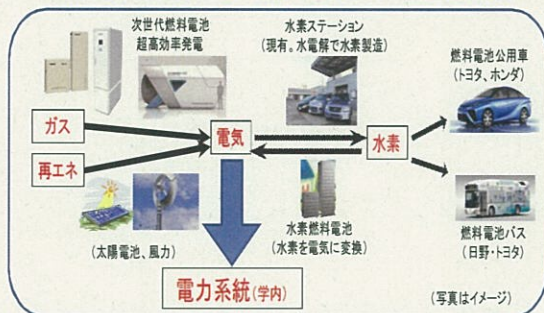
- ① 緑地管理専任の社員を配置し計画的に緑地の管理に努め、芝刈り機を導入するなど、緑化に対する意識が高い。
- ② 緑地には市の花「ヤブツバキ」や市の木「クヌギ」の植樹や、松や茶畑で有明海の海岸線や海苔ひびを表現するなど、地域色豊かな緑地空間を創り出している。
- ③ 茶畑では毎年従業員によって茶摘みが行われ、収穫した茶葉は製茶し、工場のOBや各事業所等に配るなど、コミュニケーションツールとなっている。
以上の熱心な緑化整備等の取組が高く評価されました。



(写真)昭和アルミニウム缶(株)大牟田工場の外観

グリーンアジア国際戦略総合特区関連トピックス

燃料電池・水素エネルギーを使いこなす世界初の“水素社会”を具現化！



特区制度を活用して大規模な次世代燃料電池社会実証を実施！～次世代燃料電池を核としたエネルギー社会の実現を加速～

本県は北九州市、福岡市と共同で、環境を軸にアジアから世界に展開する産業拠点の構築を目指すグリーンアジア国際戦略総合特区を推進しています。

この度、グリーンアジア国際戦略総合特区では、国の総合特区調整費17億5千万円を活用し、九州大学・次世代燃料電池産学連携研究センター(NEXT-FC)において「スマート燃料電池社会社会実証」を実施することが決定し、8月19日に発表しました。

当該調整費を活用した事業としては、本特区初、全国的にも過去2番目となる規模です。

「スマート燃料電池社会実証」では、先端分析機器を導入し、次世代燃料電池として期待される固体酸化物形燃料電池(SOFC)の劣化要因の解明手法を確立し、家庭用燃料電池の普及拡大や業務用・産業用燃料電池の本格的な市場投入につなげていきます。

また、九州大学伊都キャンパスを実証フィールドとして、SOFC実機による系統電力との連携や、再生可能エネルギーからの水素製造及び貯蔵、燃料電池自動車(FCV)からの電気供給などの実証を行い、次世代燃料電池を核としたエネルギー社会の実現を加速します。

これまでグリーンアジア国際戦略総合特区では、県内に約850億円の投資と約550名の新規雇用創出などの成果を上げています。

「岩谷産業株式会社をグリーンアジア国際戦略総合特区の指定法人に！～九州初となる一般車両向け水素ステーションを整備～

本県は、「グリーンアジア国際戦略総合特区」の指定法人に、岩谷産業株式会社(本社:大阪市)を10月2日付で指定しました。

同社は、2015年度までに全国20か所に水素ステーションを開設することを目指しています。今回、北九州市小倉北区に九州初となる一般車両向け水素ステーションを整備し、今後、水素ステーションの最適な設備構成やレイアウトなどの共通仕様を確立していくための検証を実施することとしています。

今年度中には燃料電池自動車の市販が予定されており、今回の水素ステーションの整備により、燃料電池自動車の先進的な普及拠点の形成に弾みがつくとともに、本特区が目指すグリーンイノベーションを主導する産業拠点の形成が進むものと期待されます。今後も特区の支援制度を活用し、環境を軸とした産業の国際競争力の強化を進めていきます。



(写真)右から、岩谷産業株式会社の田井中執行役員、小川知事

FCV 関連情報トピックス



(写真)FCVの普及拠点を目指し関の声をあげる様子

「ふくおかFCVクラブ キックオフイベント」を開催～官民一体で福岡県を燃料電池自動車(FCV)の普及拠点に～

本県では、これまで全国に先駆けて水素エネルギー社会を実現することを目指し、オールジャパンの産学官からなる「福岡水素エネルギー戦略会議」を立ち上げ、水素の研究開発や社会実証、産業化に取り組んできました。燃料電池自動車(FCV)の普及にはできるだけ大きな初期市場を創出することが大事であり、そのため、県ではFCVの普及と水素ステーションの整備を一体的に推進しているところです。

この取組をさらに進めるために、去る8月19日、地元の経済界や企業・大学・行政等が一体となって、FCVの導入促進活動や魅力発信に取り組む「ふくおかFCVクラブ」を設立し、キックオフイベントを開催しました。

クラブ代表である麻生泰九州経済連合会会長、小川知事による挨拶に続き、FCV導入宣言、出席者全員による「関(とき)の声」を実施。併せてFCV、水素ディスペンサー、水素タンクなどの展示も行いました。

本県は他に先駆けてFCVの普及拠点となることを目指します。

福岡の経済トピックス



(写真)TOTO(株)小倉第1工場見学の様子



(写真)(株)安川電機工場見学の様子



(写真)5県の知事(静岡、岡山、広島、佐賀、大分)とともに「米日カウンシル知事会議」に参加する小川知事



(写真)ヤフー創業者との意見交換会 左から、元CEOのジェリー・ヤン氏と小川知事



(写真)設立記念講演会にて挨拶する小川知事

小川知事が駐福岡総領事・首席領事に産業観光ツアーをPR!

本県には、ベトナム社会主義共和国、オーストラリア、大韓民国、中華人民共和国の総領事館とアメリカ合衆国の領事館が設置されています。各国の総領事・首席領事の皆さんに本県の地域の魅力を体験してもらい、福岡県をPRする取組が今年度から新たにスタートしました。

9月5日、第一弾として、北九州市における産業観光の取組が紹介され、総領事・首席領事の皆さんは、TOTO株式会社と株式会社安川電機の工場見学、工場夜景クルーズ(北九州市の北橋市長も同乗)を体験しました。当日は、TOTO株式会社の猿渡代表取締役副社長執行役員、株式会社安川電機の津田代表取締役会長兼社長にご対応いただきました。

小川知事は「今回の視察を契機に、自国の皆さまに福岡県の産業観光の魅力をぜひお伝えください」とPRしました。

小川知事と県内IT企業からなる訪問団が米国西海岸を訪問!

小川知事と県内IT企業による訪問団が、7月下旬、米国シリコンバレー等を訪問しました。

日米関係の強化を目的とした非営利団体「米日カウンシル」の呼びかけに応じたもので、日米間の地域レベルでの経済交流促進を図る「米日カウンシル知事会議」に小川知事が出席し、福岡県の産業政策の紹介を行うとともに、今後の日米間の経済交流について意見交換を行いました。

本県では、日本発のプログラミング言語「Ruby」を核としたIT産業の振興に取り組んでおり、今回の会議にはRubyを活用している県内IT企業や大学関係者等17名が同行し、米国企業とのビジネスマッチングや合同セミナー、企業訪問を行いました。

今回の訪問を契機として、福岡県と米国とのネットワーク強化を図り、ビジネスの拡大をはじめ、両地域間の経済交流を一層活発にしていきたいと考えています。

「ふくおか医療福祉関連機器開発・実証ネットワーク」設立!

本県では、今年度からの新規事業として、今後成長が見込まれる医療福祉関連機器産業の振興を図るため、機器の開発を行なう企業、ユーザーとなる病院・福祉施設や大学、行政・産業支援機関等が参加する「ふくおか医療福祉関連機器開発・実証ネットワーク」を7月8日に設立しました。

また当日は、県の医療福祉関連機器産業振興の施策説明を行うとともに、ネットワークの設立を記念し、医療機器・福祉機器それぞれの分野への参入のポイントや課題に関する講演会・交流会を開催しました。

今後この新たな産学官ネットワークのもとで、関係者のマッチングや薬事法等規制クリアのための取組など、商工部と保健医療介護部が連携し、県を挙げて医療福祉関連機器産業の振興を図ってまいります。

福岡県への企業立地に関するお問い合わせ先

福岡県商工部企業立地課(発行元)

〒812-8577福岡県福岡市博多区東公園7-7
TEL092-643-3441 FAX.092-643-3443 E-mail:kigyoo@pref.fukuoka.lg.jp

東京事務所・東京企業誘致センター

〒102-0083東京都千代田区麹町1-12ふくおか会館
TEL03-5215-7161 FAX.03-3263-7474 E-mail:toukyou-o@pref.fukuoka.lg.jp

大阪事務所

〒530-0001大阪府大阪市北区梅田1-3-1-900大阪駅前第一ビル9階
TEL06-6341-3627 FAX.06-6341-3622 E-mail:oosaka-o@pref.fukuoka.lg.jp

名古屋事務所

〒460-0008愛知県名古屋市中区栄4-1-1中日ビル7階
TEL052-262-6938 FAX.052-262-6945 E-mail:nagoya-o@pref.fukuoka.lg.jp

工場等の事業所用地・優遇制度の詳細はHPで

「福岡県企業立地情報」

<http://www.kigyorichi.pref.fukuoka.lg.jp>

福岡県 企業立地

検索